

開館時間 (火)～(金) ▶ 9 時～17 時

(土)・(日) ▶ 9 時～16 時

休館日 月曜日、図書整理日、祝日、年末年始

■問い合わせ 多久市立図書館 ☎75-2233

【6月の休館日】

1 日(月)～2 日(火) (特別整理)、
8 日(月)、15 日(月)、22 日(月)、29 日(月)



「味わいのあるなぞなぞ」を
解いてみませんか？
ついに話しくなる世界
のなぞなぞ
のり・たみみ／著
(文藝春秋)

本の中のなぞなぞを解いていくにつれて物知りになれるような 1 冊です。4000 年以上も前からなぞなぞをしていた記録もあるそうです。世界中のなぞなぞから各国の歴史や文化がみえてきます。



こぶたのピクルス
小風 さち／文
夏目 ちさ／絵
(福音館書店)

元気いっぱいこぶたのピクルスの毎日、楽しいことばかり。学校に行く時に忘れものがないように声を出して確認していくのですが、途中で牛乳屋さんやパン屋さん、新聞屋さんや出会い、用事をひきうけます。無事に学校へたどり着けるのでしょうか？



時計の読み方わかりますか？
時計がわかる本
矢玉 四郎／作
(岩崎書店)

6 月10日は時の記念日です。1920 年(大正 9 年)に、時間への認識を新たにするために設けられた記念日だそうです。「はれわたシリーズ」で有名な矢玉四郎さんが、時計の読み方がわからない子どものために、研究を重ね作られた本です。

【おすすめの書籍】

図書館からのお知らせ

【図書館豆知識】

予約サービスについて

図書館が所蔵している本を、読みたいと思った時に他の人が借りている。よくあることです。特に人気の本は、どんどん利用されていきま。そんな時に利用していただきたいサービスが「予約」です。予約申し込みを行うと、本が返却され次第連絡をします。確実に借りることが出来ます。予約申し込みは、図書館窓口、図書館内に設置している所蔵本の検索機器、図書館HPで行うことが出来ます。いずれも図書館の利用登録が必要ですので、またお済みではない場合は、住所の確認が出来る物(保険証、運転免許証、学生証など)をお持ちになり図書館までおこしください。くわしくは図書館までおたずねください。

児童向き

一般向き

【その他おすすめの書籍】

◆マリコ、カンレキ！ (林 真理子)

◆億男 (川村 元気)

◆「ごん狐」の誕生 (かつお きんや)

◆みんなのパントマイム (シスターひろみ)

◆みんなのおにぎらず (クックパッド)

◆花の咲く童話集 1 花さき山 (斎藤 隆介ほか)

◆かぐやのかご (塩野 米松)

◆おばあちゃんがおばあちゃんになった日 (長野 ヒデ子)

◆ぼくの、ひかり色の絵の具 (西村 すぐり)

◆ブロード街の12日間 (テボラ・ホプキンソン)

市交際費の支出状況

▶平成27年度 4 月分

支出種別	区分	件数	金額 (円)
弔 慰	今月分 累計	1 1	5,000 5,000
見舞い	今月分 累計	0 0	0 0
御 祝	今月分 累計	6 6	20,600 20,600
賛 助	今月分 累計	0 0	0 0
激励金	今月分 累計	0 0	0 0
接 遇	今月分 累計	1 1	3,560 3,560
会 費	今月分 累計	6 6	21,000 21,000
その他	今月分 累計	1 1	3,400 3,400
合 計	今月分 累計	15 15	53,560 53,560

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課 秘書係 ☎75-2115

人権教育 No. 218

とくに生

「菊池恵楓園を 訪れて」

熊本県にある国立ハンセン病療養所菊池恵楓園を訪れました。佐賀県が企画したふるさと交流事業で入所者と桜の木の下でふれあい、語らい、「佐賀の風」を感じていただくための交流会でした。残念ながら当日は雨となり、室内での交流会となりました。30 人の募集に對して 50 人以上が応募されていました。私達を迎えてくれた菊池恵楓園は、正門から 600 本もの桜の花のトンネルとなっていました。敷地 60 ヘクタール(東京ドーム 13 個分)、かつては、入所者の病院やお寺、火葬場、納骨堂、など生活のすべてができる施設となっており、入所すると一生この施設の中で暮しが待っていました。

ハンセン病は「らい菌」に感染することで発病する病気ですが、かつては「らい病」と言われていました。遺伝や伝染が疑われた病気で、強制隔離され、家族に迷惑がかけられないように本名や戸籍を捨てた人もいました。

今も故郷に帰れず肉親との再会を果たせない人もいます。現在は、治療法も確立され治る病気ですが、いまだに差別や偏見が根強く残っていて正しい知識の普及が進んでいないのが現状です。入所者の高齢化が進んでおり、ハンセン病問題が課題となっています。今回で 2 度目の訪問という中学生が 3 人参加していました。素直で優しい眼差しに彼らにハンセン病の正しい知識が受け継がれていくことを願います。

社会教育指導員 出口 幹子